

一風^{いっふう}の^{あおぞら}青空^{あおぞら}笑いで学ぶ 成年後見制度

市民後見人芸人が、その体験談を交えて成年後見制度をわかりやすく、
楽しく解説します。申し込み不要・参加無料です！

令和 5年 6月10日(土曜日) 日 程

10時00分～11時30分 時 間

老人保健福祉センター 集会娛樂室 場 所

講師紹介：^{あおぞら}青空 ^{いっふう}一風 氏 (写真右)

生年月日：1978年8月29日

出身地：福岡県

特 技：成年後見制度

市民後見人（あだち区民後見人）

※2018年 全国初の市民後見人芸人として登録
される。全国各地で成年後見制度の講演会等を行う。



漫才師の傍ら市民後見人を務める ^{あおぞら}青空 ^{いっふう}一風さん(44)



漫才師の傍ら、地元の東京都足立区で二年前から社会奉仕として、施設で暮らす九十代の女性の「市民後見人」を務めている。認知症などにより判断力の不十分な人の権利や財産を守る成年後見制度を活用し、家庭裁判所の選任を受けて本人に代わって契約を結び、金銭管理をするのが仕事だ。六年前に同区社会福祉協議会から成年後見を伝える漫才づくりを頼まれたことがきっかけ。制度の

この人

後見活動では細かい事務報告や、公演途中に入院の手続きで呼び出されるなどの苦勞もある。一方で月二回の面会で「福島県の米が食べたい」といった本人の願いを探り当て、施設と協力して形にできたこともある。そんな時の女性の喜ぶ様子が「何よりの報酬」とほほ笑む。
(佐橋大)

知識がなく一度は断ったが、祖母の金銭管理に親が苦勞していたことを思い出し、「身近な課題」と認識。不十分な知識ではネタはつくれないと協議会による一年間の市民後見人研修に臨んだ。

創作した漫才「笑って学ぶ成年後見」は相方の青空千風さん(三十九)と四年前から披露。全国各地の成年後見イベントでも年間四十回ほど公演している。

お問い合わせ：更別村社会福祉協議会

☎：53-3500 ✉：sarashakyo.tiiki@gmail.com

裏面に別の「市民後見人養成講座」
の案内があります。 ↘